

2023年度の事業報告について

2023年4月に子どもや子育て支援施策の司令塔として子ども家庭庁が発足し、子ども基本法に基づき、子ども大綱、幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）、こどもの居場所に関する指針、子ども未来戦略「加速化プラン」等が年末までに閣議決定しました。また、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業を始めとする所轄の担当部署は、子ども家庭庁成育局成育環境課となりました。このような歴史的な動きのなかで、ひろば全協もこれからの中長期を見すえて3年間の中期計画を策定し、「ともに支える。子どもと家庭に寄り添う拠点」をキャッチフレーズに3つの重点テーマを定めてスタートいたしました。初年度は3種類の会員アンケートを実施するなど基礎となるデータを収集し、企業や行政をはじめとした多様な関係者とのつながり強化のための広報にも力をいれました。

また児童福祉法改正に伴う新たな事業や子ども未来戦略「加速化プラン」に伴う新規事業の詳細等を伝えるため、子ども家庭庁成育局関係部署と連携し、ウェビナー形式のフォーラム「地域子育て相談機関フォーラム」、「子ども誰でも通園制度（仮称）の本格的実施を見据えた試行的事業に関するオンライン説明会」等を開催していち早く情報をお届けするよう努めました。

子ども家庭庁委託の研修事業は、静岡県静岡市で開催した全国セミナー、北海道、徳島、長崎、東京での各地方セミナーを開催、合計約1,200名の集客となりました。ご登壇いただいた皆さま、ご参加いただきました皆さま、開催にご協力いただきましたすべての皆さまに御礼申し上げます。

自主事業として昨年から取り組んでおります「利用者支援専門員（基本型）のひろば」は、連続講座に加えて、本年度は事例を通した具体的な学びの場を提供。また、予防型プログラムもフォーラムと研修を継続し、取り組む子育てひろばや実践者を更に増やしていきたいと考えております。

本年度も多くの自治体から個別の研修依頼を受けました。会員の皆さま、是非地元の自治体にもご活用いただけるよう応援願います。ひろば全協では、大きな制度改革のなかにあって、国の会議、調査研究等に積極的に参加、意見書等も提出し、皆さまに共有させていただいた1年でした。地域子育て支援拠点事業の実施数、利用者支援事業の実施数ともに増加傾向です。また、無料のセミナーや研修が開催できておりますのは、賛同いただいている企業の皆さまのご支援があつてのことです。

最後に、本年元日に発生しました能登半島地震の石川県会員団体への支援につきましても迅速に応援いただき感謝いたします。全国の会員の皆さま、ご支援いただいている企業・団体の皆さまに心より御礼申し上げて本年度の報告とさせていただきます。

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長 奥山千鶴子

中期計画キャッチフレーズ 『ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点』

「ともに支える」には、会員、地域、行政、企業等、多様な関係者と「ともに」ネットワークを築き、こどもと家庭を支えるために、私たちの役割を発揮するという思いを込めている。さらに地域子育て支援拠点の強みである「寄り添う」専門性をさらに向上させて、こどもと家庭のエンパワーメントに寄与する拠点の価値を強調している。

◆重点テーマ1◆ 地域子育て支援拠点の価値の発信と社会的認知度の向上

(1) 妊娠したら、育休とったら、拠点へGO！キャンペーンの実施

プレママ・プレパパ向けのWEBサイト充実やSNS発信に取り組み、拠点の認知度アップに努めた。また、企業に対しても拠点の価値を伝えるために、プレママ・プレパパへの拠点紹介やボランティア受け入れなど連携の機会を設けた。

1) プレママ・プレパパ向けのHPの充実とSNSの発信等による地域子育て支援拠点の認知度アップ

- ・ホームページを改編し、プレママ・プレパパに拠点を紹介するページや拠点検索ができるように充実させた。
- ・プレママ・プレパパの拠点利用促進のために、拠点が地元企業と連携する際の企業向けチラシのひな形を紹介、データの提供。

2) 企業との連携

●一般社団法人生命保険協会との連携

保険外交員の方が各家庭で配布するパンフレット「知っておきたい『子育て』に役立つ知識～子育て支援制度～」の制作協力。
 ※児童手当、出産育児一時金、育休制度、子育て世代包括支援センター、地域子育て支援拠点、こども家庭庁の発足等について記載するとともに、ひろば全協について紹介をした。

●経団連と日本NPOセンター共催の「企業とNPOの集い」に参加し、プレママ・プレパパ支援を中心に紹介



(2) 拠点で取り組む最新情報の発信（会員向けアンケートの実施）

テーマを決めて会員に対してアンケートを実施し、WEB公開することで拠点の取り組みをアピールした。

1) 妊娠期からの支援に関する調査
 妊娠期の支援の現状を把握するためのアンケートを実施

■調査概要

- ・テーマ 妊娠期からの支援の取り組みについて
- ・調査方法 Web アンケート
- ・調査期間 2023年6月26日～7月14日
- ・調査対象 ひろば全協全会員(1450会員)
- ・回答数 200 拠点(地域子育て支援拠点等の子育てひろば)

2) 出産・子育て応援交付金への関わりに関する調査
 出産・子育て応援交付金の伴走型相談支援を受託する拠点が
 増えるよう、会員にアンケート調査を行い、取組事例を共有

■調査概要

- ・テーマ 出産・子育て応援交付金について
- ・調査方法 Web アンケート
- ・調査期間 2023年9月21日～10月13日
- ・調査対象 ひろば全協全会員
- ・回答数 114 拠点(地域子育て支援拠点等の子育てひろば)

◆重点テーマ2◆ 会員と共に育てる豊かな地域子育て支援

(1) 会員間のコミュニティづくり

- ・「テーマ別交流会」を実施。日頃気になるテーマについて会員同士で情報交換をしながら交流した。
- ・「利用者支援専門員のひろば」に登録した利用者支援事業(基本型)を実施する会員に講座を実施し、ネットワーク作りにつなげた。

(2) ひろば全協への意見を収集しニーズに沿った事業を実施する

1) ひろば全協の事業の認知度・ニーズ調査

ひろば全協の事業の認知度やニーズ、意見を収集し、ニーズに沿った事業を実施するためアンケート調査を行った

■調査概要

- ・テーマ 会員向けアンケート
- ・調査方法 Web アンケート
- ・調査期間 2023年10月30日～11月13日
- ・調査対象 ひろば全協全会員
- ・回答数 117 拠点(地域子育て支援拠点等の子育てひろば)

◆重点テーマ3◆ 企業や行政をはじめとした多様な関係者とのつながりの強化

(1) 地域につながるきっかけづくり

- 会員から相談があった時は行政や企業とつながるよう、サポートを行った。
- プレママ・プレパパ向けチラシのデータを公開。チラシ作成のためのひな型をダウンロード可能とし、活用事例を紹介した。

活用例

【NPO 法人アンジュ・ママン】

豊後高田市商工観光課を通して地元企業に配布してもらっている。

【かがわ子育てひろば連絡協議会】

協議会の会員が各自治体で付き合いのある商工会議所に配布したりつながりのある企業に渡している。

また、「かがわ子育て支援県民会議」を通じて業界団体にも配布していただいている。

- 企業に対してボランティアの受け入れ先団体を紹介(地域イベント手伝いや子育てひろばでのボランティア活動)



(2) 会員団体が地元行政と対話ができるようにサポートを強化

- ・理事が企業や自治体等に訪問し SNS 等で発信した。
- ・リーダーシップ研修等で行政との連携方法を会員と共有した。



山口県庁



岐阜県庁



高知県庁



豊後高田市商工会議所

(3) 地域子育て支援に関する事例やノウハウを共有するための WEB サイトの構築

ホームページ改編に伴い、プレママ・プレパパに拠点を紹介するページや拠点検索ができるように充実させ、調査研究の報告書や国からの最新情報を検索しやすくした。

地域子育て支援に関する事例やノウハウを共有できる各種冊子を専用ページからダウンロードできるようにした。

2023 年度事業報告の件

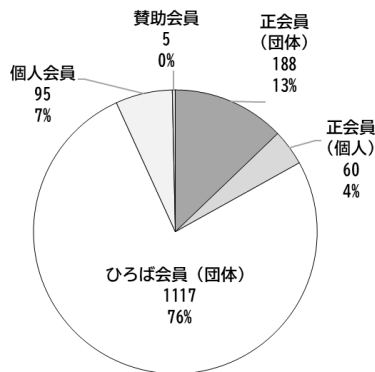
2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

1. 会員について (2024 年 3 月 31 日時点)

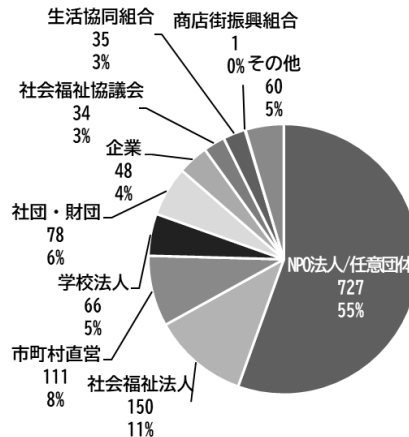
会員総数 1,465 (団体 1,310 個人 155) 前年より 37 増加 (新規: 88)

正会員(団体)188 正会員(個人)60 ひろば会員 1,117 賛助会員 5 個人会員 95

会員種別



運営主体



◆都道府県別 会員数

	正(団体)	正(個人)	ひろば	個人	賛助	総計		正(団体)	正(個人)	ひろば	個人	賛助	総計		正(団体)	正(個人)	ひろば	個人	賛助	総計
北海道	2	3	27	4	0	36	山梨県	5	0	9	1	0	15	鳥取県	0	0	2	0	0	2
青森県	1	1	4	1	0	7	静岡県	5	0	23	3	0	31	広島県	3	1	28	1	0	33
秋田県	0	1	6	0	0	7	愛知県	6	3	51	7	0	67	山口県	3	1	25	2	0	31
岩手県	2	1	8	0	0	11	岐阜県	2	3	5	3	0	13	愛媛県	5	0	16	1	0	22
宮城県	4	1	10	3	2	20	石川県	2	0	7	0	0	9	香川県	7	3	18	0	0	28
山形県	4	1	9	1	0	15	富山県	0	0	0	3	0	3	徳島県	4	0	4	2	0	10
福島県	3	1	17	0	0	21	福井県	3	1	8	0	0	12	高知県	1	1	2	0	0	4
新潟県	3	2	10	2	0	17	三重県	3	0	4	0	0	7	福岡県	0	2	36	4	0	42
栃木県	0	0	9	0	0	9	和歌山県	0	0	10	0	0	10	長崎県	2	0	20	1	0	23
茨城県	2	0	17	3	0	22	大阪府	19	6	151	5	0	181	熊本県	3	1	11	1	0	16
群馬県	1	0	7	0	0	8	京都府	2	1	30	0	0	33	佐賀県	0	1	12	4	0	17
埼玉県	20	2	39	10	0	71	滋賀県	1	0	15	2	0	18	大分県	4	1	13	2	0	20
千葉県	9	6	36	3	0	54	奈良県	1	0	34	1	0	36	宮崎県	0	0	8	0	0	8
東京都	21	6	140	13	2	182	兵庫県	6	1	38	3	0	48	鹿児島県	2	1	15	0	0	18
神奈川県	18	5	120	3	1	147	岡山県	6	3	22	1	0	32	沖縄県	0	0	4	3	0	7
長野県	3	0	35	2	0	40	島根県	0	0	2	0	0	2	合計	188	60	1117	95	5	1465

2. 住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」助成事業

あなたの未来を強くする



(1) 利用者支援専門員 (基本型) のひろば

利用者支援事業の実施団体と専門員のための「利用者支援専門員 (基本型) のひろば」に登録いただき、最新の情報提供としてメールマガジンを配信した。また、登録者専用の講座を開催して情報提供や情報交換、事例検討等を行い、事業の取組促進、質の向上を目指すと共に、子育て支援関連の相談支援体制の強化、専門員の更なる社会的位置づけの向上を目的として講座を開催した。

① 「利用者支援専門員 (基本型) のひろば」への登録とメールマガジンの配信

- ・「利用者支援専門員 (基本型) のひろば」への登録推進を HP やメールニュースで広報した。
- ・登録要件: 「ひろば全協会員」かつ「利用者支援事業 (基本型) を実施している拠点または専門員」
- ・登録者数: 131 (2024 年 3 月 31 日現在)
- ・隔月でメールマガジンを配信し、利用者支援事業についての国の「最新情報」、「各地の取組」など利用者支援事業に特化した情報提供を行った。(4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月)

②利用者支援専門員（基本型）のひろば専用講座の開催（オンライン開催）

2022 年度にご好評いただいた講座と同じテーマで 2023 年度も開催し、昨年度定員を超えたため参加できなかった方、新たに利用者支援事業に関わる方、再度受講希望の方に参加いただいた。また、新規講座「事例検討を通して学ぶ利用者支援事業の役割」を開催し具体的な事例を基にグループワークを行った。

- ・講師：橋本真紀先生 関西学院大学 教授
- ・コーディネーター：ひろば全協理事

●連続講座（3回連続）

	日程	時間	人数	テーマ
1	5/12(金)	13:30~16:30	36	実践に見る利用者支援事業の実践実態と課題の確認と共有
2	6/9(金)	13:30~16:30	41	利用者支援事業の政策的位置づけと実践的役割の確認
3	7/21(金)	13:30~16:30	39	利用者支援事業の実施要綱とガイドライン再確認 -「地域連携」機能を中心に-

●新規講座 2 回：新規講座は各テーマの事例研究をもとにグループワークで検討し発表を行った。

	日程	時間	人数	内容
1	10/20(金)	13:30~16:30	35	事例検討を通して学ぶ利用者支援事業の役割
2	2024/2/9(金)	13:30~16:30	28	

(2) 地域子育て相談機関フォーラム（オンライン開催）

令和 6 年 4 月 1 日から子育て家庭により身近な「地域子育て相談機関」が創設される。「地域子育て相談機関」は子育て家庭に身近な場所で能動的な状況確認を行うことによって、子育て家庭との接点を増やし、子どもの状況把握の機会を増やすことが求められており、地域子育て支援拠点は、その一翼を担うことが期待されている。そこで、身近な相談の場として拠点が既に実施してきた役割に加えて、どのような機能が必要とされるのか、こども家庭センターとどのように連携していけば良いのか。令和 4 年度に実施された調査や実践者の声も交えながら新たに始まる制度について考えるフォーラムを開催した。

●テーマ：「地域子育て相談機関」について考える ～地域子育て支援拠点が担うために～

●日時：9月29日(金) 13:30~16:00

●プログラム内容

◇来賓挨拶：松井秀樹様(住友生命相互会社ブランドコミュニケーション部ソーシャルコミュニケーション室室長)

◇行政説明：こども家庭庁成育環境課

◇課題提起「地域子育て支援拠点事業や利用者支援事業（基本型）が『身近な相談機関』として機能するために必要となる環境（ヒト・モノ・コト）」 講師：橋本真紀先生 関西学院大学 教授

◇トークセッション

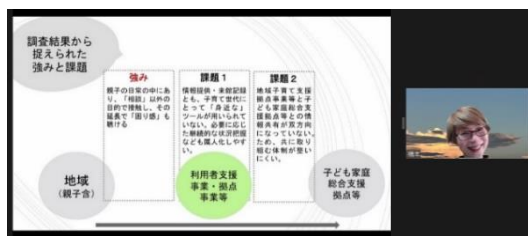
- ・話題提供者：石田尚美（ひろば全協 理事）
松村由美子(NPO 法人おしゃべりサラダ 代表理事)

- ・話し手：橋本真紀先生・中條美奈子（ひろば全協 理事）
- ・コーディネーター：奥山千鶴子（ひろば全協 理事）

●チラシ送付先：ひろば全協会員、全国の地域子育て支援拠点

●参加者：421 名

●参加費：無料



(3) 「予防型プログラム(講座・講習)」地域子育て支援拠点職員が実施するための手引きを活用したフォーラムの開催・研修の実施 (オンライン開催)

昨年度に開催した「予防型プログラム」を周知するためのフォーラムが好評だったため、今年度は、実践事例に対して講師からコメントをいただき、拠点におけるグループワークを用いた「予防型プログラム」の実施の推進を目的としたフォーラムを開催した。また、「予防型プログラム」研修初任者向け・経験者向けを行い、2022年度の開催で定員を超えたため参加できなかった方にも多数ご参加いただいた。



① 予防型プログラム オンラインフォーラム「やってみよう! 予防型プログラム」

●日時: 7月24日(月)15:00~16:45

◇来賓挨拶 松井秀樹様

(住友生命相互会社ブランドコミュニケーション部ソーシャルコミュニケーション室 室長)

◇講演 『拠点で行うグループワークの意義』

・講師: 倉石哲也さん(武庫川女子大学 教授)

◇トークセッション

・話し手: 倉石哲也さん(武庫川女子大学 教授)

奥山千鶴子(ひろば全協 理事長)

松田妙子(ひろば全協 理事)

・コーディネーター: 中條美奈子(ひろば全協 理事)

●参加費: 無料

●参加者: 213名



② 「予防型プログラム」研修初任者向けの実施 (オンライン開催)

	日程	時間	人数	協力団体
1	5/13(土)	13:30~15:30	29	NPO法人くすくす
2	8/30(水)	13:30~15:30	35	認定NPO法人びーのびーの
3	11/17(金)	13:30~15:30	38	NPO法人せたがや子育てネット
4	2024/1/15(月)	13:30~15:30	36	認定NPO法人マミーズ・ネット



●対象者: 利用者参加型のグループワークを活用したプログラムの実施経験が浅い拠点の職員

●参加費: 無料

●講師: 1名 (ひろば全協理事)

③ 「予防型プログラム」研修経験者向けの実施 (オンライン開催)

グループワーク後の振り返りや日頃の活動への活用方法など「予防型プログラム」のさらなる展開を学ぶ研修プログラムを開催した。

	日程	時間	人数	協力団体
1	6/10(土)	13:30~16:15	13	NPO法人くすくす
2	9/13(水)	13:30~16:15	28	認定NPO法人びーのびーの
3	12/8(金)	13:30~16:15	27	NPO法人せたがや子育てネット
4	2024/2/19(月)	13:30~16:15	24	認定NPO法人マミーズ・ネット

●対象者: 経験者向け (何度か予防型プログラムを実施した経験のある拠点職員)

●参加費: 無料

●講師: 1名 (ひろば全協理事)

(4) プレママ・プレパパ向け講座のためのワークショップ（オンライン開催）

妊娠期からの切れ目ない支援のために、地域子育て支援拠点でできる「プレママ・プレパパ向け講座」について考えるワークショップを開催した。参加者からは高評価をいただき、「プレママ・プレパパ向け支援の広報やプログラム運営、課題を共有できて有意義だった」等感想をいただいた。



	日程	時間	人数	協力団体
1	8/23(水)	10:00~12:00	31	NPO 法人あっと
2	2024/2/6(火)	10:00~12:00	42	NPO 法人ふらっとスペース金剛

- 対象 : 地域子育て支援拠点等でプレママ・プレパパ向け講座の開催を希望する団体に所属する方
- 参加費 : 無料
- コーディネーター : 2名（ひろば全協理事）

(5) テーマ別交流会（会員限定 オンライン開催）

2023年度は「テーマ別交流会」をオンラインで開催した。冒頭で各事業について基本情報を共有するためのレクチャーを行い、その後、日頃気になるテーマについて会員同士で情報交換をしながら交流した。各会 15:00 終了後、話し足りない方を対象に「ちょこっと交流会」を 30 分実施し、多くの方が追加で情報交換を行った。

日時	テーマ	人数	協力団体
7/13(木) 13:30~15:00	拠点における一時預かりを語ろう	37	認定 NPO 法人びーのびーの
8/2(水) 13:30~15:00	拠点におけるファミリー・サポート・センター事業	35	認定 NPO 法人マミーズ・ネット
9/6(水) 13:30~15:00	拠点における地域支援どうしてる？	35	NPO 法人アンジュ・ママン
2024/1/9(火) 13:30~15:00	拠点における SNS の活用	35	NPO 法人松戸子育てさぼーとハーモニー

- 定員 : 各開催 40 名
- 参加要件 : ひろば全協の会員であること
- 参加費 : 無料
- コーディネーター : 2名（ひろば全協理事）

3. こども家庭庁委託事業 地域の人材による子育て支援活動強化研修

地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業の従事者、行政担当者、地域で子育て支援に従事している方々を対象に、5つの開催地に分けて、のべ1,538名の方々に参加いただいた。

(1) 全国セミナー

テーマ:「どうする?こどもまんなか社会 つながって語り合おう!」



開催名	全国子育てひろば実践交流セミナー in 静岡
日時	11/4(土)13:00~17:30 (1日目:全体会) 11/5(日) 9:00~12:30 (2日目:分科会)
会場	11/4:静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ「会議ホール・風」(静岡市駿河区東静岡 2-3-1) 11/5:静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 各分科会会場
後援	静岡県・静岡市・(社福)全国社会福祉協議会、日本子ども・子育て支援センター連絡協議会(ここネット)
参加人数	449名(2日間でのべ788名) 1日目参加者408名 2日目380名(第1分科会53名/第2分科会60名/第3分科会86名/第4分科会102名/第5分科会79名)
運営協力	全国子育てひろば実践交流セミナー in 静岡実行委員会
実行委員会事務局	一般社団法人ここみ

1日目は、国の最新情報を説明いただいた後、基調講演では、社会福祉法人麦の子会理事長の北川聡子さんにご登壇いただいた。その後、静岡県行政情報や拠点での実践事例を交えながら拠点事業のこれからについてパネルディスカッションを行った。2日目は5分科会で、有識者の先生方の講義とともに全国の実践者が交流、情報交換をすることができた。準備段階から9か月、実行委員会形式で準備を行い、当日スタッフ約60名によるスムーズな運営のもと、多くの知見を共有することができた。

《実行委員会》（所属は開催当時・敬称略）

- 実行委員長 永倉みゆき 静岡県立大学短期大学部こども学科 教授 短期大学部部長
- 実行委員 池谷貴子 NPO 法人ころころねっと浜松 理事長（ころころルーム）
- 今村恵美子 （社福）静岡県社会福祉協議会 清水中央子育て支援センター 前所長
- 大村美智代 一般社団法人ここみ 代表理事
- 岡村由紀子 NPO 法人なのはな 理事長（城東子育て支援センター）
- 北山 茂 社会福祉法人小川大富福祉会なかよし保育園 園長
- 中村章啓 社会福祉法人柿ノ木会 幼保連携型認定こども園 野中こども園 副園長
- 松浦美晴 くらみ子育て支援事業所「パンダひろば」 所長
- 奥山千鶴子 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長

■ 1 日目 (13:00~17:30)

【行政説明】「地域の子育て支援に関する施策の現状」

【基調講演】「すべての子どもと家庭が大切にされる社会とは～これからの子ども・家庭支援への思い」

【パネルディスカッション】「子どもと家庭をエンパワーする地域子育て支援拠点の予防的機能を高めるために」

■ 2 日目 (9:00~12:30) 分科会

【第1分科会】地域子育て支援拠点の基本4事業の実践から学び合う

【第2分科会】地域子育て支援拠点で実施する利用者支援事業のこれから

【第3分科会】多様なニーズに応える地域子育て支援拠点事業の質的向上について

【第4分科会】地域子育て支援拠点が地域の身近な相談機関となるために

【第5分科会】多様な困難を抱えた家庭への支援を考える



(2) 地方ブロック

開催名	北海道開催	徳島開催	長崎開催	東京開催
開催日時	8/27(日) 10:00~16:15	10/14(土) 10:00~16:00	12/3(日) 10:00~16:00	2024/1/28(日) 10:00~16:00
後援	北海道・札幌市 (社福)全国社会福祉協議会	徳島県・徳島市 (社福)全国社会福祉協議会 徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部	長崎県・長崎市 (社福)全国社会福祉協議会	東京都 (社福)全国社会福祉協議会
参加人数	153名	278名	158名	161名
協力	NPO 法人 子育て応援かざぐるま	NPO 法人子育て支援ネットワークとくしま 公益社団法人徳島県労働者福祉ネットワーク とくしま子育てひろば連絡協議会	NPO 法人インフィニティー	NPO 法人 せたがや子育てネット

地方セミナーについても、開催地事務局の会員団体の協力のもと、すべて対面開催とした。こども家庭庁が創設され新たな制度について共有するニーズも高く、国の最新情報を説明いただいた後、地域子育て支援拠点への各開催地の課題に沿ったテーマの講義を有識者の先生方から伺った。また、パネルディスカッションでは、実践事例も伺いながら地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業についての学びを深める機会となった。

4. 自治体等受託事業

地域子育て支援拠点従事者のための基礎研修・応用研修・中堅者研修、子育て支援コーディネーター養成講座、地域子育て支援士二種養成講座、講義型研修を実施した。今年度は、基礎研修、応用研修、中堅研修についてはすべて対面研修を再開させ、活発なグループワークを行うことができた。

参加者アンケートでは、対面で実践者同士がロールプレイやグループ討議で、支援について語り合うことができるのはとても良かったという声が多く聞かれた。

※2023年度末現在：基礎研修修了者 2,983名、応用研修修了者 1,041名

番号	契約先	支援員	研修内容(研修名)	日程(1日目)	日程(2日目)	会場
1	世田谷区		基礎研修①(世田谷区初任者研修)	2023/7/13	2023/8/3	子ども・子育て総合センター
2	世田谷区		基礎研修②(世田谷区初任者研修)	2024/1/30	2024/2/27	世田谷区文化生活情報センター生活工房
3	世田谷区		応用研修(世田谷区初任者ステップアップ研修)	2023/10/19	2023/11/16	世田谷区立男女参画センターらぶらす
4	世田谷区		講義型研修(世田谷区中堅者研修)	2024/2/2	-	子ども・子育て総合センター
5	横浜市		基礎研修①(横浜市初任者研修)	2023/8/1	2023/9/20	横浜市社会福祉センター(1日目) 神奈川産業振興センター(2日目)
6	横浜市		基礎研修②(横浜市初任者研修)	2023/11/15	2023/12/5	神奈川産業振興センター
7	横浜市		応用研修(横浜市中堅者研修)	2023/9/28	2023/10/31	1日目:伊藤研修センター 2日目:加瀬会議室鶴見駅前ホール
8	横浜市		中堅者研修(横浜市リーダーシップ研修)	2023/10/11	-	伊藤研修センター
9	横浜市			2023/10/30	-	加瀬会議室新横浜 3丁目
10	文京区	○	地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援士二種)	2023/10/24	-	文京区民センター
11	熊谷市地域子育て支援拠点連絡会 くまっしえ		講義型研修	2023/6/15	-	熊谷市スポーツ・文化村「くまびあ」
12	浜松市		講義型研修	2023/11/20	-	曳馬協働センター
13	大分県	○	子育て支援コーディネーター養成講座	2023/11/30		大分県子ども・女性相談支援センター
14	大分県	○	地域子育て支援士二種	2023/12/12		大分県社会福祉介護センター
15	山梨県		応用研修	2023/11/22	2023/12/20	やまなし地域づくり交流センター
16	香川県		講義型研修	2023/10/18	2023/11/7	1日目:サンメッセ香川 2日目:マルタス
17	国分寺市		講義型研修	2024/3/15	-	ひかりプラザ
18	仙台市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/8/4	-	オンライン
19	柏市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/8/4	-	オンライン
20	韮崎市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/8/4	-	オンライン
21	上野原市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/8/4	-	オンライン
22	高知県	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/8/4	-	オンライン
23	仙台市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/10/4	-	オンライン
24	山鹿市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/10/4	-	オンライン
25	青森市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/10/4	-	オンライン
26	桑名市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/10/4	-	オンライン
27	中央市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/10/4	-	オンライン
28	弘前市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/10/4	-	オンライン
29	仙台市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/12/7	-	オンライン
30	見附市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/12/7	-	オンライン
31	高知県	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/12/7	-	オンライン
32	桑名市	○	利用者支援事業(コーディネーター養成講座にて受講)	2023/12/7	-	オンライン
33	交野市	○	地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援士二種養成講座にて受講)	2023/11/29	-	オンライン
34	交野市	○	地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援士二種養成講座にて受講)	2024/1/22	-	オンライン
35	奈良市		基礎研修	2024/2/8	-	奈良市役所
36	北九州市		中堅者研修	2023/11/11	-	ウェルとばた
37	練馬区		基礎研修	2023/12/22	2024/1/16	練馬区立区民・産業プラザ
38	練馬区		応用研修	2023/12/20	2024/1/24	練馬区立区民・産業プラザ
39	一般財団法人 保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【福島県】	2023/11/24	2023/12/19	オンライン
40	一般財団法人 保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(基本型)【福島県】	2024/1/11	2024/1/12	オンライン

5. 自主事業

(1) 地域子育て支援拠点等 初任者研修 (オンライン会議)

実践現場の初任者がまずは押さえておきたい基礎知識を2時間にまとめた「初任者研修」を2023年度は5回開催し、受講者は271名であった。地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」を軸に、子育ての現状や行政制度、地域子育て支援拠点事業の意義や役割、基本的な支援のあり方、守秘義務などのポイントを学ぶ機会を提供することができた。

- 講師：1名 (ひろば全協理事)
- 受講料：3,300円 (税込) /1名
- 受講対象：地域子育て支援拠点等の初任者、ボランティアスタッフなど
- 受講要件：PC等 (1名1台) で顔を表示して受講できること

	日程	時間	人数	講師
1	5/23(火)	10:00~12:00	43	小川
2	6/20(火)	10:00~12:00	69	藤井
3	8/1(火)	10:00~12:00	52	廣崎
4	9/7(木)	10:00~12:00	49	野口
5	11/20(月)	10:00~12:00	58	白川

地域子育て支援士

(2) 地域子育て支援士二種養成講座 (オンライン開催)

2023年度は6回の講座を実施。全国の地域の子育て支援にかかわるスタッフや、ボランティア、学生など幅広い方々の認定講座として多くの方に受講いただいた。2023年度末の認定者数は5,020名となった。

*「地域子育て支援士」は、NPO法人子育てひろば全国連絡協議会の登録商標を取得済み。商標登録第5708302号

- 講師：1名 (ひろば全協理事) ●受講料：9,900円 (税込)
- 認定：講座終了時の認定試験合格者に認定証発行
- 受講要件
 - ①地域子育て支援拠点等における活動者 (有給の職員だけでなく継続的なボランティアも含む)
 - ②大学・短大・専門学校等において保育士・社会福祉士・保健師 いずれかの養成課程に在籍する学生、その他、心理学を修める大学の学部・学科に在籍する学生
 - ③保育士・社会福祉士・保健師のいずれかの資格取得者
 - ④地域子育て支援拠点等におけるボランティア経験を有する者



	日程	時間	協力団体	人数	講師
1	6/14(水)	9:30~16:50	NPO法人新座子育てネットワーク	41	坂本
2	8/2(水)	9:30~16:50	NPO法人せたがや子育てネット	41	松田
3	9/30(土)	9:30~16:50	認定 NPO 法人びーのびーの	46	奥山
4	11/29(水)	9:30~16:50	NPO法人あっと	49	藤井
5	2024/1/22(月)	9:30~16:50	認定 NPO 法人マミーズ・ネット	24	中條
6	2024/2/8(木)	9:30~16:50	認定 NPO 法人わははネット	34	中橋

(3) 子育て支援コーディネーター養成講座(オンライン開催)

親子が継続的に利用できる施設で、個別の家庭状況を踏まえた支援のコーディネートをする方を対象とした講座として開催。利用者支援事業の従事者向けの内容を盛り込み、地域子育て支援拠点での子育て支援コーディネーターの役割と期待される力量について、学びを深めるものとしている。

また、子育て支援員専門研修 利用者支援事業(基本型)のシラバスと合致することから、一部、自治体の子育て支援員研修として受講された方が含まれている。(2023年度末での修了者数は1,115名)

●講師：2名(ひろば全協理事)

●受講料：26,400円(税込)

●修了証書：事前課題に取り組んだ上、講座を受講した方に修了証書発行

●受講要件：地域子育て支援拠点など親子が継続的に利用できる施設で、概ね3年または通算1,300時間程度の実践経験者、および、それらに準ずる者

	日程	時間	人数	講師
1	8/4(金)	9:30~18:30	35	坂本・小川
2	10/4(水)	9:30~18:30	26	中條・安田
3	12/7(木)	9:30~18:30	29	中條・野口

(4) 利用者支援スキルアップ講座(オンライン開催)

社会福祉士である講師をお招きし、実践現場の事例を織り交ぜながら、家族関係を可視化するジェノグラムを実践に活かす方法を、受講者と一緒に考える機会を提供することができた。

●テーマ：「利用者が主役になる支援～ジェノグラムを実践に活かす～」

●受講料：12,100円(税込)

●講師：寺本紀子さん(一般社団法人寺本社会福祉士事務所 代表理事)

●話題提供：川上由枝さん(認定NPO法人おやこの広場あさがお 理事・事務局長)

●受講要件：下記のいずれかに当てはまる方

- ・子育て支援コーディネーター養成講座の修了者
- ・利用者支援事業現任者
- ・利用者支援事業に類する業務の従事者

日程	時間	人数	コーディネーター
2024/2/7(水)	13:30~16:30	32	松田

(5) リーダーシップ研修(*会員限定 オンライン開催)

受講者は51名であった。参加者からは、「リーダーシップの基本的な考え方を学ぶことができ、ワークは明日からの実践に活用したいと思った」「オンラインであっても、繋がることができ勇気づけられた」などの感想をいただいた。

●日程：2023年7月8日(土)9:00~17:00

●受講料：22,000円(税込)

●対象者：団体の代表、理事、サブリーダー、次世代リーダーなどでリーダーシップを身につけたい方

●受講要件：・ひろば全協の会員の方

- ・PC等(1名1台)で顔を表示して受講できること

(6) 公開セミナー (オンライン開催)

「子育て支援が日本を救う～政策効果の統計分析」等の書籍を出版された柴田悠先生にご講演いただいた。幸福感が得られるためには、「他者の幸福も視野に入れる」、「中長期的視点も持つことが必要」との調査結果などから、ピアサポートを大切にする拠点の役割に通じるお話を伺うことができた。

- 日時：2023年6月4日(日) 13:50～16:30
- 対象者：子育てひろばに関わる実践者・行政担当者・研究者など
- 参加人数：239名
- テーマ：これからの子育て支援策とウェルビーイング
- プログラム

行政説明：「地域の子育て支援に関する施策の現状」

こども家庭庁成育局成育環境課

基調講演：社会学から読み解く

～より多くの方が幸せに生きられる社会のために子育て支援にできること

講師：柴田悠さん 京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授

トークセッション：「地域子育て支援拠点が育むウェルビーイングとは」

情報交換会

(7) 書籍販売

「**詳解 地域子育て支援拠点ガイドラインの手引 子ども家庭福祉の制度・実践をふまえて 第4版**」

- 価格：2,420円(税込)
- 発行：中央法規出版
(ご参考) これまでの発行部数 21,000部
【第1版】5,000部 【第2版】6,000部
【第3版】6,500部 【第4版】3,500部 (2023年1月発行)



「**地域子育て支援拠点で取り組む利用者支援事業のための実践ガイド**」

- 価格：1,980円(税込)
- 発行：中央法規出版
(ご参考) これまでの発行部数 6,000部
【第1版】4,000部 【第2版】2,000部



(8) 子育てひろば総合補償制度の拡充

*引き受け保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

子育てひろばで発生しうる事故を想定して作られた総合補償制度であり、任意加入ではあるものの、安心、安全のためにもひろば保険の普及に努めた。具体的には、利用者支援事業の実施が進む中で、人格権侵害や個人情報漏えい保険などを紹介するとともに、職員のけがに対する補償についても周知を行った。

●対象となる会員：「子育てひろば」もしくは類似の事業を実施されている会員の方

●保険期間：1年間（2023年4月1日午後4時～2024年4月1日午後4時まで）

※約定履行費用保険のみ、2023年4月1日午前0時～2024年3月31日午後12時

- 概要：（1）賠償責任補償制度
- （2）ひろば施設内利用者傷害見舞金制度
- （3）近隣活動・移動中傷害見舞金制度
- （4）ひろば職員傷害保険制度
- （5）サイバーリスク保険制度
- （個人情報漏えい保険）

種類	件数	状況
接触	28	振り返り時に頭を棚にぶつけた
		おもちゃを取ろうとした他児の指が当たった
		すべり台の後遊具にぶつけた
		滑り台後に転んでおもちゃをぶつけた
		ベビーベッドの端に顔をぶつけた
		転倒し、右まぶたと歯を打った
		ジャングルジムで顔をぶつけた
		自転車が転倒して隣の自転車にぶつかった
		ベンチにぶつけた
		友達とぶつかっておでこに裂傷
		友達とぶつかって前歯の損傷
		大きな遊具に接触し打撲
		転んでベンチの角に顔をぶつけた
		滑って転び床にぶつければ唇を切った
		すべてジャングルジムの支柱にぶつけた
		遊具の角にぶつけた
		滑って転び階段に上唇をぶつける
		別の子のおもちゃがあたった
		大きな遊具と接触し脱臼
		机の縁に顔をぶつける
はいはいの移動時前頭部を棚にぶつける		
幼児同士がぶつかり唇を切った		
1歳の子に顔をつかまれた		
姉弟で引っ張り合いして脱臼		
友だちに腕を引っ張られ脱臼		
2歳の子にかみつかれた		
親子で遊んでいる時に親が子に乗るような形になった		
挨拶した際に棚に顔をぶつけた		
転落・落下	8	一時預かりの子どもを抱っこした際にこどもが落下
		ベッドから転落
		こどもを抱きながら他の子のトラブルを仲裁していてこどもが落下
		積み重ねた大型ブロックより転落
		すべり台を逆上がり転落
		荷物置き場の上に乗る転落、右腕損傷
		かごから落下し、負傷
		つるしかごよりマットに落下
転倒	17	おもちゃを取られると思った他児に顔をつかまれた
		前に急に倒れた
		転倒した
		ハイハイでつんのめり唇をぶつけた
		転倒しひねった
		段ボールで立ち上がり時に前へ倒れた
		転倒し、右まぶたと打ちつけ
		木の包丁を持ってころんだ
		転倒し目尻を擦過傷
		玄関で転倒
		すべり台で転倒
		オムツ交換台で立った子が転倒、打撲
		ひっくり返る
		階段を上る時にすべて前向きに倒れた
		積み木の飛び石を渡っていて転倒
		フットサルで転倒、捻挫
		自転車置き場で転倒
挟む	4	自動ドアの下の隙間に指を突っ込む
		サツンの扉に顔を挟んだ
		ポンプのつなぎ目に指を挟む
踏み外し	5	椅子と床に足をはさみ打撲
		すべり台を滑って足をひねる
		トランポリンで足を踏み外した
		ジャンプした際に捻挫
		階段を上る時に足を踏み外した
その他	4	着地の際に捻挫、骨折疑い
		つかまり立ちのワイヤーをかんで出血
		玄関の床のささくれの棘がささった
		おんぶから抱っこに変える際に母親が腕を引っ張った
		クッキング中に包丁でひとさし指を切った

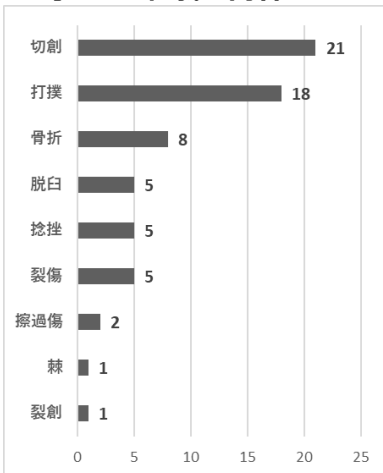
(ご参考)2023年度のひろば保険事故報告一覧

【子どもの事故・・・66件】

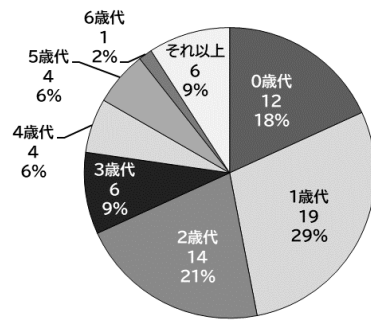
【大人の事故・・・14件】

【賠償責任保険・・・6件】

●子どもの怪我の内容 N=66



●子どもの年齢 N=66



●怪我の部位



6. 政策提言・情報提供・情報収集活動

(1) 意見書の提出・情報提供

- ・こども未来戦略会議や各種委員会に意見書を提出すると共に、こども家庭庁に予算要望書を提出。
- ・こども家庭庁主催「こども誰でも通園制度（仮称）の本格実施を見据えた試行的事業」に関するオンライン説明会の実施および配布資料と動画の配信（2023年12月8日（金）10:30～12:00開催）

(2) 情報紙「子育てひろば」発行

- 発行時期：vol.27（2023年8月）、vol.28（2024年3月）
- 発行部数：各1,700部

(3) ホームページの改訂とSNSでの情報発信

中期計画における事務局機能の強化の一環として、2023年度はホームページの改訂を行った。法人設立から17年親しんできたホームページが、検索性を高めたサイトに生まれ変わり、対象別のページも提供。また、Instagram等のSNS発信も開始した。

- 実践者向け、拠点の利用者向け、自治体向け、企業向けといった対象別のページを提供。
- 各種セミナー、養成講座の募集告知とWEBからの申込が可能。
- 研修セミナーの写真報告書がPDFで閲覧可能。
- 国から提供された実施要綱等の最新情報を提供。
- 「各地のひろば」の更新によりネットワーク形成を目指した。



(4) メールニュース配信

各種研修事業の案内や国の制度などの最新情報を提供。会員限定、月1回定期配信と臨時配信。

(5) 電話相談対応

会員、行政等からの問い合わせ、ひろば保険、制度、運営等に関する相談対応。

(6) 新聞等メディア対応

取材対応、取材対象先の情報提供など。

(7) 令和6年能登半島地震子ども・子育て支援募金

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被災された乳幼児の子育て家庭への支援をされている会員2団体に募金の受け取りを了解いただき、会員団体に募金口座の情報を案内するとともに、会員からの応援メッセージを渡した。

◇連携団体

NPO 法人かもママ（石川県加賀市）

認定NPO法人おやこの広場あさがお（石川県白山市）

受付実施期間：2024年1月11日～2024年3月31日



7. 後援事業・委員委嘱

<後援名義>

①第20回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会 2023

日程：2023年11月5日（日）13:00～17:30

主催：特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク

②第11回子ども・子育て支援全国大会 in 山形

日程：2023年11月25日（土）～26日（日）

主催：日本子ども・子育て支援センター連絡協議会（ここネット）

<委員委嘱>

◆2023年度 委員委嘱一覧

①内閣官房 こども未来戦略会議構成員 奥山千鶴子

②こども誰でも通園制度（仮称）の本格実施を見据えた試行的事業実施の在り方に関する検討会

構成員 奥山千鶴子

③こども家庭庁 こども家庭審議会子ども・子育て支援等分科会委員 奥山千鶴子

④こども家庭庁 こども家庭審議会成育医療等分科会委員 藤井智佳子

⑤こども家庭庁 こども家庭審議会幼児期までのこどもの育ち部会 奥山千鶴子

⑥こども家庭庁 こどもまんなか社会実現プラットフォーム（仮）設立準備会合委員 奥山千鶴子

⑦国土交通省 まちづくりにおける駐車場政策のあり方検討会「施設デザインWG」委員 松田妙子

⑧国土交通省 子育てにやさしい移動に関する協議会委員 松田妙子

⑨国土交通省 都市公園の遊び場に関する検討会委員 松田妙子

⑩横浜市 親と子のつどいの広場事業運営団体選定委員会委員 松田妙子

⑪（一社）全国食支援活動協力会 「広がれ、こども食堂の輪！」推進会議委員 坂本純子

⑫こども家庭庁調査研究事業（テーマ：10年後の子ども・子育て支援の在り方に関する研究会） 奥山千鶴子

⑬こども家庭庁調査研究事業（テーマ：出産・子育て応援交付金）小川由美

委員会ではない形式

① 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム幹事会（内閣府） ひろば全協として参画

8. 受取寄付金・給付金等のご報告

◆熊谷組スマイルプロジェクト（株式会社熊谷組）：500,000円

株式会社熊谷組様の社会貢献活動プラットフォーム「熊谷組スマイルプロジェクト」に選定された。直接、社員の方が子育てひろばを訪れ、イベントに関わってくださったり、牛乳パックを使った「くまトレイン」を制作いただき、ひろばで直接親子にプレゼントして下さった。

◆バイグリコ活動（江崎グリコ株式会社）1,251,000円

従業員自社商品購入点数をポイント化し、そのポイントを資金とした助成をいただいている。「健康」「食」「子ども」をテーマにした地域貢献活動のうち、「こども」の分野でひろば全協をお選びいただいた。

◆「朝日の月」^{きよきん} 醸金（朝日生命保険相互会社）：530,000円

朝日生命保険相互会社様では創立月である7月を「朝日の月」と定め、社会貢献活動の一環として、毎年、全役職員による「朝日の月」醸金を実施されている。ひろば全協は、社会福祉などの分野で活動する団体の1つとして選定された。